

3. 大学の教官スタッフ（教授、助教授、講師、助手）

1) 構成 — どれかにマル —

ア) 現行のままでよい。（教授・助教授・助手）

イ) つぎのように変えるべきだ。

\*教授のみ、\*教授、助教授（準教授）、\*教授、講師、\*教授、助手、  
\*その他（ )

2) 改革されるべき課題 — 複数回答 —

ア) とくにない。（ )

イ) 流動化のないこと。（どうすれば・・・ )

ウ) 雑用の多いこと。（どうすれば・・・ )

エ) サーバチカルリーブのないこと。（どうすれば・・・ )

オ) 問題ある教官のいること。（どんな・・・ )

カ) TA(Teaching Assistant), RA(Research Assistant)の強化拡大  
( )

キ) その他 ( )

4. 当面する最も切実な問題 — 順位を数字でつける（5位まで） —

( ) 教官不足 ( )

( ) 事務官不足 ( )

( ) 技官不足 ( )

( ) 学生、院生問題（数、処遇、勉学条件・・・ )

( ) 留学生問題（数、処遇、勉学条件・・・ )

( ) 研究室が狭い ( )

( ) 教室不足 ( )

( ) 設備が悪い ( )

( ) 校費不足 ( )

( ) 旅費不足 ( )

( ) 学生経費不足 ( )

( ) 科研費問題（どんな・・・ )

( ) 処遇の悪さ（最も望むこと・・・ )

( ) その他 ( )

5. 農学系の研究における大学の位置・役割 - 各項ごとにマルを入れる -

- 1) 官公庁研究機関に対比して、
  - ア) 優る   イ) 劣る   ウ) 同等 (内容: )
  - エ) 比較しても無意味 (理由: )
- 2) 民間研究機関に対比して、
  - ア) 優る   イ) 劣る   ウ) 同等 (内容: )
  - エ) 比較無意味 (理由: )
- 3) 欧米諸国の大学等に対比して、
  - ア) 優る   イ) 劣る   ウ) 同等 (内容: )
  - エ) 比較無意味 (理由: )
- 4) 発展途上諸国の大学等に対比して、
  - ア) 優る   イ) 劣る   ウ) 同等 (内容: )
  - エ) 比較無意味 (理由: )
- 5) 科学、技術の発展に対して、
  - ア) 貢献してきた (内容: )
  - イ) 応用しただけ (内容: )
  - ウ) その他 (内容: )
- 6) 農林水産業の発展に対して、
  - ア) 貢献してきた (内容: )
  - イ) 貢献していない (理由: )
  - ウ) その他 (内容: )
- 7) 環境・資源問題に対して、
  - ア) positiveに作用 (内容: )
  - イ) negativeに作用 (内容: )
  - ウ) その他 (内容: )
- 8) これからの大学における研究は、
  - ア) 今までのやり方でよい (理由: )
  - イ) 研究センターの大学と教育センターの大学に区分 (理由: )
  - ウ) 全大学が研究教育を一体的に遂行する (理由: )
  - エ) その他 (内容: )
- 9) 「産官学」協力のあり方について、
  - ア) 現状でよい (理由: )
  - イ) 未だ不十分 (理由: )
  - ウ) 協力のあり方を再検討せよ (内容: )
  - エ) その他 (内容: )

6. 大学と社会

1) 卒業生の動向・評価（博士・修士・学士）、一概略比率%と理由

|                         | 博士 修士 学士     |     |     | 博士 修士 学士 |     |     |   |
|-------------------------|--------------|-----|-----|----------|-----|-----|---|
|                         | (卒業生本人による評価) |     |     | (就職先の評価) |     |     |   |
| ア) 大学での教育研究を<br>生かしている。 |              |     |     |          |     |     |   |
| イ) まあまあ生かして<br>いる。      |              |     |     |          |     |     |   |
| ウ) 殆ど関係ない。              |              |     |     |          |     |     |   |
|                         | 100          | 100 | 100 | 100      | 100 | 100 |   |
| ・何故そうなのか？ (             |              |     |     |          |     |     | ) |

2) 留学生の動向と評価

|                            | 博士 修士 学士     |     |     | 博士 修士 学士  |     |     |   |
|----------------------------|--------------|-----|-----|-----------|-----|-----|---|
|                            | (卒業生本人による評価) |     |     | (出身国側の評価) |     |     |   |
| ア) 日本の大学での教育<br>研究を生かしている。 |              |     |     |           |     |     |   |
| イ) まあまあ生かして<br>いる。         |              |     |     |           |     |     |   |
| ウ) 殆ど関係ない。                 |              |     |     |           |     |     |   |
|                            | 100          | 100 | 100 | 100       | 100 | 100 |   |
| ・何故そうなのか？ (                |              |     |     |           |     |     | ) |

3) 新入生の動向と評価、 —複数回答—

- ア) 昔も今も変わらない。(内容 )
- イ) 「質」がよくなった。(どのように? )
- ウ) 「質」がおちた。(どのように? )
- エ) 「農」への関心が薄い。(なぜ? )
- オ) 新しい期待を持つ。(どんな? )
- カ) その他 ( )

7. 自由記入 —どんなことでも—

## 農林水産関係大学附属施設アンケート調査票

大学名：

施設名：

1. 施設所在地および敷地面積（施設が複数地区に分散している場合は、それぞれの名称を付し個別に御記入下さい。2以下の項目では施設全体を一括記入願います。）

|     | 所 在 地 | 敷地面積 ha |
|-----|-------|---------|
| (1) |       |         |
| (2) |       |         |
| (3) |       |         |
| (4) |       |         |

2. 教職員数（職種、職階等が表記と一致しない場合は、ほぼ相当すると考えられるところを改変して御記入下さい。なおカッコ内には10年前の人員数を御記入願います。）

「教官数」

|             | 教 授   | 助教授   | 講 師   | 助 手   | 教務職員  |
|-------------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 専任          | ( ) 名 | ( ) 名 | ( ) 名 | ( ) 名 | ( ) 名 |
| 兼任          | ( )   | ( )   | ( )   | ( )   | ( )   |
| 非常勤<br>(臨時) | ( )   | ( )   | ( )   | ( )   | ( )   |

「その他職員数」

|             | 技術職員  |       | 事務職員  |       | その他   |
|-------------|-------|-------|-------|-------|-------|
|             | 行(一)  | 行(二)  | 行(一)  | 行(二)  |       |
| 専任          | ( ) 名 | ( ) 名 | ( ) 名 | ( ) 名 | ( ) 名 |
| 兼任          | ( )   | ( )   | ( )   | ( )   | ( )   |
| 非常勤<br>(臨時) | ( )   | ( )   | ( )   | ( )   | ( )   |

3. 担当実習科目（学部学生を対象に当該施設が担当している実習科目。複数の科目を担当している場合はそれぞれを御記入下さい。下欄には10年前の状況を御記入願います。）

| 科目名称 | 対象学科<br>(学生数) | 実施学年・<br>学期 | 必修・<br>選択の別 | 単位数 |
|------|---------------|-------------|-------------|-----|
|      |               |             |             |     |
|      |               |             |             |     |

4. 上記実習科目の具体的内容および方針（主要な10項目程度の内容を列挙して御記述下さい。）

5. 実習以外の学部教育への貢献（各大学の実状に即して、自由に御記述下さい。以下の各項についても同様。）

6. 大学院の教育・研究への貢献

7. 他学部、他大学の教育・研究への貢献

8. 当該施設の現状について問題と考えられる事項

9. 当該施設の教育研究についての基本方針、再編改組についての将来計画等（すでに改組が実施されている場合はその現況、また考慮中の場合は差支えない範囲で。）

10. 上記と関連して、貴施設を特殊目的にも利用することを考えておられるか

(たとえば、1)農場で作物、雑草の遺伝子保存、標本保存を考えられているか、2)牧場機能を有する施設で病態動物に関する研究や遺伝子工学を取り入れた家畜育種を考えておられるか、等々。)

11. 日本学術会議への要望事項

12. その他お気付きの点

(記入欄が不足している場合は、項目番号を付して別紙に御記入願います。)